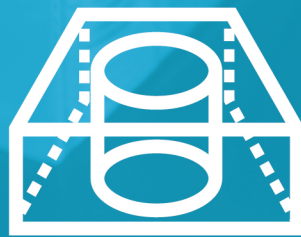


可視化部品製作



アクリルなどの透明性樹脂を、切削加工により可視化可能な透明度で高精度に加工します。流体観察や装置内部の動作確認の可視化や意匠性の高い加工品のご要望にお応えします。



有限会社 岸本工業
Precision Machining Of Plastic Materials

こんなお悩みを解決します

- 流体観察や装置内部の動きを見えるようにしたい
- 透明度もはめあいもどちらも再現したい
- 内部構造の説明展示用に美しく見せたい

切削加工による高透明度加工は、形状確認目的の造形加工とは異なり、精度やはめあいなども再現できるため機構部品として使用することができます。図面通りに加工するだけでなく、使用方法・コスト等をふまえて形状変更や加工方法のご提案なども可能です。製品の展示台・3次元加工による立体形状など、意匠面を意識した部品も製作致します。

【主な納入先】 大学研究室、研究開発法人、メーカー研究開発部門、装置メーカー、デザイン事務所 その他多数

キレイだけでなく寸法も正確に再現

アクリルは最大の特徴である透明度を活かし、幅広い用途で利用されています。目的の形状に切断・削ったあとはその面を磨くことで透明度を再現することができますが、一方で寸法精度は失われてしまいます。ただ単にキレイに削るだけでなく、寸法も正確に再現して“機構部品”として使えること、それが当社の「可視化加工」であり、多くの設計・研究開発者様に選ばれる理由の一つです。



透明度レベルの確認

透明度は発注者の主観に大きく依存するところであるため、どんな使い方をされるかによって必要とされる透明度が変わります。「中の文字が見えれば OK」「高精度カメラで撮影する」など、使い方をヒアリングし、場合によってはサンプルで透明度をすり合わせた上で製作いたします。

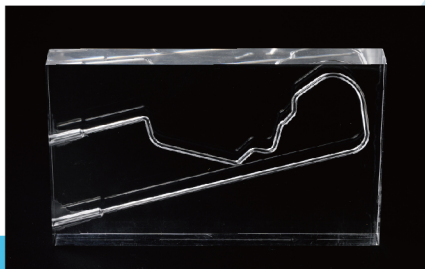


加工事例



意匠性部品

3次元切削加工にて自由鏡面を表現しました。機能性部品だけでなく意匠性の高い製品も加工可能です。



カテーテル練習用ファントム

板の間に穴が通る複雑な形状です。透明度を損なわずに加工しています。



流体可視化実験用部品の樹脂化

流体可視化実験用にSUS配管部品を部分的にプラスチックに置き換えました。

